



2004年8月31日 No. 95

細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148
細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818
E-mail : g04091@shugjin.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

民主党、岡田代表続投決まる

民主党の代表選挙は8月30日告示、9月13日投票の日程で行われることになっていましたが、30日の告示に岡田現代表以外に立候補者がいなかったため、無投票で岡田氏が再選されることに決まりました。細川律夫代議士は党の代表選挙中央選管委員長としてこの代表選を主宰することになっていましたが、岡田代表の再選を宣言する役割だけが残ることになります。

これで民主党としては岡田代表のもと、次回総選挙で政権交代を実現するため、結束してより鮮明な政策の確立を図っていくこととなります。

細川代議士は視察の夏



ノルウェーの介護施設を訪問

細川律夫代議士は、7月18日から7月26日の9日間、予算委員会海外視察団の一員として、ヨーロッパ各国を歴訪しました。パリ、ロンドン、オスロ、プラハの各都市で、各国の政府首脳や議会関係者と

会談し、それぞれの国の財政事情、あるいは年金を含めた社会保障制度などの調査をしました。

8月は北海道を訪問

また、8月17日から19日まで、今度は現在委員長をしている決算行政監視委員会で北海道に行きました。まず、旭川で陸上自衛隊第2師団を訪問し、委員長として荣誉礼を受け、幹部と懇談しました。その後、石狩新港を訪れ、リサイクルの拠点港として整備されつつある状況を見ました。小樽港では100年前に作られた防波堤が今でもしっかり機能しているのが分かり、当時の公共事業の質を感じました。北海道財務局では経済的に遅れを取っている北海道の現状を聞きながら、公共事業依存体質からの脱却が必要だと痛感しました。

国会議員の視察は、会談や施設見学で埋まる忙しい日程が組まれています。国の予算を使った視察には批判もありますが、自ら経験したことを国政に生かせるなら大きな意義があります。

災害募金のご協力に感謝

7月、新潟、福島、福井を襲った集中豪雨は、死者18名など各地に甚大な被害を及ぼしました。

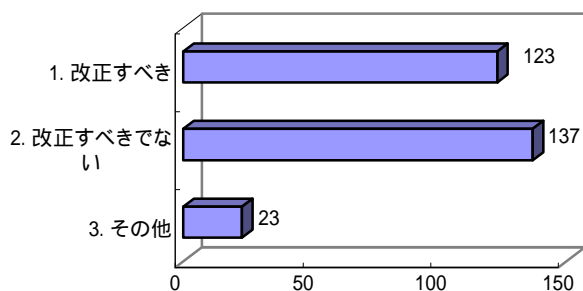
民主党では災害対策本部を設け、現地にボランティアを派遣するとともに、各地で募金活動を行いました。ここ埼玉3区でも、街頭で募金のお願いをし、49,502円集まり、早速党本部を通じ被災地へ送りました。募金のご協力に感謝いたします。

アンケートの結果

細川律夫事務所では国政報告チャレンジの発送とともに、国政に関するアンケートを実施しました。この集計などのについては、事務所で仕事をしているインターンの学生の皆さんに協力してもらいました。以下がその結果です。

(有効回答数 285)

問1. 憲法改正の議論が高まっています。どうお考えですか？



問2. 「改正すべき」と答えた方にうかがいます。どの点を改正すべきだとお考えですか？

9条改正について

- ・ 軍力を平和活動に使えるくらい増大
- ・ 自国を守れるように
- ・ 国連常任国になるように改正
- ・ 陸海空軍の保持と自衛隊との関係を明確に
- ・ 9条だけは改正するな

天皇制の削除

義務教育のあり方

時代に合ったものへ

基本的人権について

14条3項(栄典に関する条項)

67条(内閣総理大臣の指名についての条項)

細川律夫の感想

随分伯仲しているのに驚きました。また、改正賛成も反対も9条を軸にしていることがよく分かりました。私は、「憲法を一切変えない」という姿勢がいいとは思いませんが、少なくとも9条のような平和主義の根幹を決める条項は、国民の意見が大きくまとまらない限り、軽々に変えるべきではないと考えています。

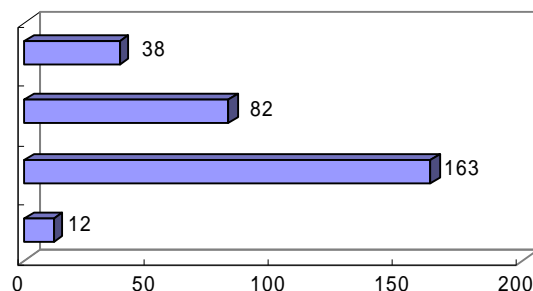
問3. 北朝鮮との国交正常化交渉と拉致事件の関係についてどうお考えですか？

国交正常化交渉は拉致問題の進行を直接絡ませずに行う。

国交正常化交渉は行うが、拉致問題の前進がなければ、その時点で先に進まない。

安否の確認などさらに拉致問題の前進がなければ、正常化交渉に入らない。

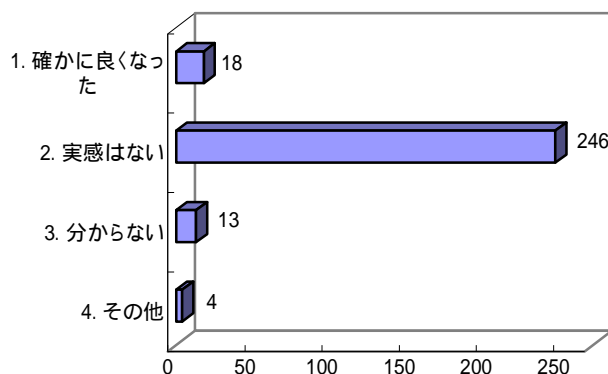
国交正常化交渉に入ることそのものに反対。



細川律夫の感想

とがこれほど離れたのは意外でした。やはり、多くの皆さんが拉致を決して許せない行為であると考えている結果でしょう。ただ、私は国交正常化の方向は必要だと思います。中国同様、北朝鮮を次第に改革・開放に持って行くには、国同士が粘り強く話し合うほかありません。

問4. 政府は「景気は堅調に回復している」としています。あなたはどう思いますか？



細川律夫の感想

これは私の予想通りの結果でした。政府は回復を強調していますが、多くの国民に実感はありません。理由は、景気回復が輸出関連などの大企業に偏り、一部の人だけがその果実を得ているためです。消費と雇用、この2つの指標が改善されなければ実感の伴った景気回復にはなりません。